

ふちゅうししょうがいしゃけいかく ふちゅうししょうがいふくしけいかく
府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・
 ふちゅうししょうがいふくしけいかくさくてい ちょうさ
府中市障害児福祉計画策定のための調査
 こ そだ はたつ かん ちょうさ ねが
子どもの育ちや発達に関する調査についてのお願

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、令和3年3月に策定を予定しております「府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画」の基礎資料とするために、調査を実施します。

この調査は、府中市にお住まいの18歳未満の身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費受給者証、児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証をお持ちの方の中から、1,000名を無作為に選ばせていただき、保護者の方にご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報の保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和元年10月 府中市

記入についてのお願

- 封筒のあて名のお子さんについて、保護者の方がご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「お子さん」とは、封筒のあて名の方を指します。保護者の方の回答が必ずかしい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただき、記入してください。
- 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください
- お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください
の場合は回答内容等を記入してください。
- の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
- 「その他」に○印をつけられた方は、[]内に具体的な答えを記入してください。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

11月11日（月）までに 返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

【問合せ先】

府中市福祉保健部障害者福祉課 TEL 042-335-4545

おしらせ

この調査の結果については、令和2年4月頃に府中市のホームページで公開する他、調査報告書を府中市役所障害者福祉課窓口等に設置いたします。ぜひ、ご覧ください。

**府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画
 までのスケジュール**

府中市障害者計画※1・府中市障害福祉計画※2・府中市障害児福祉計画※3は、この調査結果等を基礎資料とし、市民、学識経験者、障害者福祉団体等から構成された「府中市障害者計画推進協議会」で検討を進めながら策定します。

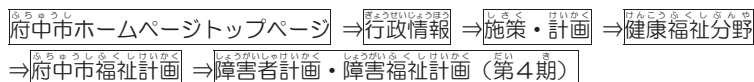
- ※1：障害者のための施策全般に関する基本的な考え方や方向性を定める6年間の計画
- ※2：障害福祉サービスの必要な量の見込み、その確保策等に関する3年間の実施計画
- ※3：障害児福祉サービスの必要な量の見込み、その確保策等に関する3年間の実施計画

令和2年3月 この調査も含めた調査報告書を取りまとめます。
 令和2年4月頃 調査報告書を府中市のホームページで公開するとともに、各関係機関に設置します。
 令和2年秋頃 計画についてパブリックコメントを実施します。
 令和3年3月 ここていただいたご意見をもとに計画を再調整します。第5期府中市障害者計画・府中市障害福祉計画(第6期)・府中市障害児福祉計画(第2期)を策定します。

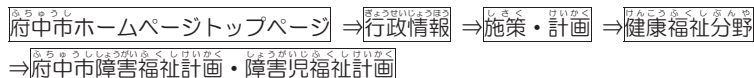
なお、現計画(第4期府中市障害者計画・府中市障害福祉計画(第5期)・障害児福祉計画(第1期))は、前回の皆様にご回答いただいたアンケートを基礎資料として策定し、府中市役所障害者福祉課窓口や中央図書館等にてご覧いただけます。

また、以下の府中市のホームページ (<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>) でもご覧いただけます。

◆府中市障害者計画



◆府中市障害福祉計画(第5期)・府中市障害児福祉計画(第1期)



※ 設問文における「お子さん」とは封筒のあて名のお子さんのことを指します。
また、「あなた」とは記入者のことを指します。

F1 記入される方とあて名のお子さん（以下、お子さん）との関係についておたずねします。（1つに○）

- (N=651)
- | | | | |
|-------|-------|---------------|------|
| 1. 母親 | 89.5% | 4. 祖母 | 0.5% |
| 2. 父親 | 9.5% | 5. その他〔具体的に：〕 | 0.2% |
| 3. 祖父 | 0.0% | 無回答 | 0.3% |

F2 お子さんはどちらにお住まいですか。（1つに○）

*市内にお住まいの方は 内にも記入してください。

(N=651)

1. 市内 99.2% → 町 丁目

2. 市外 0.0%
無回答 0.8%

(n=646)

- | | | | |
|-------------|-------|-------------|-------|
| 中央文化センター圏域 | 16.0% | 是政文化センター圏域 | 8.2% |
| 白糸台文化センター圏域 | 11.6% | 紅葉丘文化センター圏域 | 9.1% |
| 西府文化センター圏域 | 9.4% | 押立文化センター圏域 | 2.9% |
| 武蔵台文化センター圏域 | 5.4% | 四谷文化センター圏域 | 5.4% |
| 新町文化センター圏域 | 7.6% | 片町文化センター圏域 | 10.2% |
| 住吉文化センター圏域 | 11.3% | 無回答 | 2.9% |

あて名のお子さんについておたずねします

F3 お子さんの性別と年齢をお答えください。（1つに○）

*戸籍上の区別とは別にお子さんのお気持ちを踏まえて、ご記入ください。

(1) 性別

(N=651)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 男性 | 65.9% | 2. 女性 | 33.5% |
| | | 無回答 | 0.6% |

(2) 年齢 *平成31年4月1日現在の年齢をお答えください。

(N=651)

- | | | | |
|-----------------|-------|------------------|-------|
| 1. 乳児期（0～1歳） | 0.5% | 4. 小学校高学年（9～11歳） | 21.4% |
| 2. 幼児期（2～5歳） | 26.9% | 5. 中学生（12～14歳） | 15.7% |
| 3. 小学校低学年（6～8歳） | 19.5% | 6. 高校生（15～17歳） | 15.2% |
| | | 無回答 | 0.8% |

F4 お子さんがお持ちの手帳または受給者証の種類ごとに、現在の程度に○をつけてください。

お持ちの手帳等の種類	現在の手帳の程度・受給状況					
身体障害者手帳 (n=130)	1級	38.5%	2級	23.1%	3級	17.7%
	4級	12.3%	5級	3.8%	6級	4.6%
愛の手帳 (n=348)	1度	2.0%	2度	27.6%	3度	21.8%
	4度	48.6%				
精神障害者保健福祉手帳 (n=36)	1級	2.8%	2級	25.0%	3級	72.2%
特定医療費受給者証 (N=651)	1. 受給している〔対象の疾病：〕					2.5%
	2. 受給していない	18.6%	非該当			79.0%
児童通所受給者証 ・障害福祉サービス受給者証 (N=651)	1. 受給している〔利用中のサービス：〕					56.7%
	2. 受給していない	7.1%	非該当			36.3%

※身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳の程度は、非該当を除いた手帳所持者数の割合である。

F5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。お子さんの身体障害者手帳に記載された項目は次のどれですか。（いくつでも○）

(n=130)

- | | |
|--|-------|
| 1. 視覚障害 | 3.1% |
| 2. 聴覚障害 | 14.6% |
| 3. 音声・言語・そしゃく・平衡機能障害 | 2.3% |
| 4. 肢体不自由（上肢・下肢・体幹の障害） | 68.5% |
| 5. 内部障害（心臓・肝臓・腎臓・呼吸器・膀胱・直腸・小腸・免疫機能の障害） | 21.5% |
| 無回答 | 1.5% |

F6 お子さんの主な障害や疾病が生じたのは、いつごろですか。（1つに○）

(N=651)

- | | | | |
|---------------------|-------|-----------------|------|
| 1. 出生時（出生前を含む） | 29.0% | 4. 中学校卒業後～17歳ころ | 0.3% |
| 2. 乳幼児期（0歳～小学校入学前） | 57.7% | 5. 分からない | 2.3% |
| 3. 学齢期（小学校入学～中学校卒業） | 6.9% | 無回答 | 3.8% |

F7 お子さんと同居*している方はどなたですか。（いくつでも○）

*2世帯住宅は同居としてお答えください。

*お子さんの父母の親族を含めてお答えください。

(N=651)

- | | | | |
|----------|-------|---------------|-------|
| 1. 母親 | 94.5% | 4. 兄弟、姉妹 | 60.1% |
| 2. 父親 | 84.6% | 5. 親族 | 0.8% |
| 3. 祖父、祖母 | 7.8% | 6. その他〔具体的に：〕 | 1.2% |
| | | 無回答 | 2.2% |

お子さんの通園・通学の状況についておたずねします

問1 お子さんは現在、保育所・保育園・幼稚園や学校に通っていますか。(1つに〇)

(N=651)	
1. 保育所・保育園・保育ルーム	10.4%
2. 幼稚園	8.8%
3. 特別支援学校幼稚園	0.3%
4. 公立小学校（通常の学級に在籍）	8.6%
5. 公立小学校（通級指導学級・特別支援教室も利用）	7.4%
6. 公立小学校（特別支援学級に在籍）	10.9%
7. 特別支援学校小学部	12.8%
8. 私立小学校	0.6%
9. 公立中学校（通常の学級に在籍）	3.4%
10. 公立中学校（通級指導学級も利用）	1.4%
11. 公立中学校（特別支援学級に在籍）	5.4%
12. 特別支援学校中学部	4.9%
13. 私立中学校	0.5%
14. 高等学校	3.1%
15. 特別支援学校高等部	11.5%
16. その他〔具体的に：〕	7.2%
17. どこにも通っていない	2.5%
無回答	0.3%

問1-1 問1で「1」～「16」と答えた方におたずねします。
お子さんの通園・通学で、困っていることはありますか。(1つに〇)

(n=633)	
1. 通わせたい園・学校に空きがない	1.7%
2. 通園・通学の送迎が大変	16.0%
3. 通っている園・学校の対応が十分ではない	7.7%
4. 通っている園・学校が子どもに適しているのか分からない	8.7%
5. その他〔具体的に：〕	12.5%
6. 特にない	51.3%
無回答	2.1%

お住まいについておたずねします

問2 あなた（記入者）のお住まいは次のうちどれですか。(1つに〇)
(N=651)

1. 持ち家の一戸建て	34.8%	6. グループホーム	0.0%
2. 持ち家の集合住宅	31.6%	7. その他	2.6%
3. 民間賃貸の一戸建て	1.5%	〔具体的に：〕	
4. 民間賃貸の集合住宅	22.1%	無回答	0.5%
5. 公営住宅、UR・公社の賃貸住宅	6.9%		

問3 お住まいについて何か困っていることがありますか。

(1) 設計・設備について（いくつでも） (N=651)

1. 階段や段差に苦労する	7.4%
2. 浴室・トイレなどの家屋内の設備が不便	7.5%
3. 住宅が狭い・または十分な部屋がない	17.4%
4. 入り口や廊下のスペースが狭く移動がむずかしい	4.0%
5. 駐車場がない	4.1%
6. エレベーターがない	5.1%
7. 耐震補強ができていない	3.7%
8. その他〔具体的に：〕	10.0%
9. 特に困っていない	61.8%
無回答	1.8%

(2) 住宅事情について（いくつでも） (N=651)

1. 家賃が高い	17.2%
2. 駅から遠い、買物が不便など、立地が悪い	12.4%
3. 近隣に住む人との間に問題を抱えている	4.6%
4. お子さんが大きな声を出したり動き回っていることに、近隣から苦情を受けている	8.9%
5. 電車の音や人の声など騒音が気になる	4.5%
6. その他〔具体的に：〕	10.6%
7. 特に困っていない	54.5%
無回答	1.7%

問4 お住まいに関する困りごとで、希望する支援は次のどれですか。(いくつでも〇)
(N=651)

1. 住宅設備を改善する工事費用の給付	22.1%
2. 家具転倒防止器具の支給	11.2%
3. 住宅費の助成	36.7%
4. 障害等や子どもの育ちや発達に対する不動産会社の理解促進	18.3%
5. 障害等のある人や発達が気になるお子さんに対する近隣住民の理解促進	42.5%
6. その他〔具体的に：〕	5.7%
無回答	20.6%

日常生活についておたずねします

問5 お子さんは、日常生活において障害や疾病などがあるために何らかの介助を受けていますか。(1つに○)

(N=651)

- | | | |
|-----------|-----------------------|-------|
| 1. 受けている | →問5-1、5-2、5-3にお答えください | 37.0% |
| 2. 受けていない | →問6へ進む | 61.5% |
| 無回答 | | 1.5% |

問5-1 問5で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

(1) 介助をしている人はどなたですか。(いくつでも○)

(n=241)

- | | | | |
|-------|-------|---------------------|---------------|
| 1. 母親 | 91.3% | 5. 近所の人 | 1.2% |
| 2. 父親 | 63.5% | 6. ボランティア | 0.0% |
| 3. 祖父 | 6.6% | 7. 公的なサービス(福祉サービス) | 54.8% |
| 4. 祖母 | 15.8% | 8. その他〔具体的に：
無回答 | 10.8%
0.4% |

(2) 主に介助している人はどなたですか。

((1)の選択肢から1つだけ の中に記入してください)

主な介助者

(n=241)

- | | | | |
|-------|------|---------------------|--------------|
| 1. 母親 | 880% | 5. 近所の人 | 0.8% |
| 2. 父親 | 2.1% | 6. ボランティア | 0.0% |
| 3. 祖父 | 0.0% | 7. 公的なサービス(福祉サービス) | 2.1% |
| 4. 祖母 | 0.8% | 8. その他〔具体的に：
無回答 | 0.8%
5.4% |

問5-2 問5で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

お子さんは、障害や疾病などの支援として公的なサービス(例：ホームヘルプ・訪問看護)による介助を1週間のうち何日ぐらい受けていますか。(1つに○)

(n=241)

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| 1. 毎日 | 2.5% | 4. 週に1日 | 13.3% |
| 2. 週に4~6日 | 30.7% | 5. 受けていない | 36.1% |
| 3. 週に2~3日 | 12.4% | 無回答 | 5.0% |

問5-3 問5で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

お子さんは、障害や疾病などの支援として家族・親族・ボランティア(公的なサービスを除く)の介助を1週間のうち何日ぐらい受けていますか。(1つに○)

(n=241)

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| 1. 毎日 | 52.3% | 4. 週に1日 | 3.3% |
| 2. 週に4~6日 | 4.1% | 5. 受けていない | 19.5% |
| 3. 週に2~3日 | 4.6% | 無回答 | 16.2% |

福祉サービスの利用についておたずねします

問6 お子さんの福祉サービスの利用状況・利用意向について、おたずねします。(1)～(15)のそれぞれについて、「1」～「7」にいくつでも○をつけてください。

	利用できている	希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したいが事業所がない	今後、利用したい	利用したくない	分からない	無回答
(N=651)								
(1) 居宅介護（ホームヘルプ） 自宅で、食事・排せつ・入浴の介護など、日常生活上の支援を行うサービス	2.9%	2.6%	0.6%	1.4%	10.6%	26.6%	27.0%	29.2%
(2) 同行援護 視覚障害により、移動に「著」しい困難を有する障害等のある人の外出に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護などを提供するサービス	0.3%	0.0%	0.3%	0.8%	3.4%	28.6%	32.7%	33.9%
(3) 行動援護 知的障害・精神障害により行動に「著」しい困難のある人に、行動の際の危険回避、その他の支援を行うサービス	0.9%	1.1%	2.5%	1.7%	16.6%	20.3%	28.4%	29.3%
(4) 短期入所（ショートステイ） 自宅で介護する人が病気の場合に、短期間、夜間も含め施設で、食事・排せつ・入浴の介護などを提供するサービス	3.2%	3.7%	4.8%	3.1%	20.3%	20.9%	20.3%	26.0%
(5) 児童発達支援 障害のある児童（療育が必要な児童）に日常生活における基本的動作の指導、自活に必要な知識や技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を行うサービス	21.7%	7.2%	3.8%	4.9%	16.1%	8.1%	18.9%	21.7%
(6) 医療型児童発達支援 障害のある児童（療育が必要な児童）に日常生活における基本的動作の指導、自活に必要な知識や技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を行うとともに治療を提供するサービス	4.1%	2.8%	2.3%	3.8%	16.0%	15.5%	26.9%	29.8%
(7) 放課後等デイサービス 就学児に学校授業終了後や休業日に生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進など多様なメニューを提供するサービス	36.9%	12.6%	6.1%	3.5%	21.0%	6.1%	9.5%	8.6%

次ページの(8)～(15)にもお答えください

	利用できている	希望通りではない	利用しているが事業所に空きがない	利用したいが事業所がない	今後、利用したい	利用したくない	分からない	無回答
(N=651)								
(8) 保育所等訪問支援 障害児施設で指導経験のある児童指導員や保育士が、保育所などを2週間に1回程度訪問し、障害児や保育所などのスタッフに対し、障害児が集団生活に適応するための専門的な支援を行うサービス	0.8%	0.3%	1.8%	1.5%	10.9%	18.3%	34.7%	32.3%
(9) 居宅訪問型児童発達支援 重度の障害等により外出が困難な障害児に対し、居宅において児童発達支援を行うサービス	0.2%	0.2%	0.8%	0.8%	3.5%	27.0%	33.0%	34.9%
(10) 障害児相談支援 障害児支援所支援を利用する前に障害児支援利用計画を作成し、通所支援開始後、一定期間ごとにモニタリングを行う等のサービス	14.6%	2.0%	4.0%	2.2%	17.2%	10.1%	25.7%	25.2%
(11) 移動支援 ガイドヘルパーが、同行し、移動の手助けや交通機関の利用の補助などの外出をサポートするサービス	4.5%	4.8%	4.6%	1.8%	24.4%	14.6%	23.5%	24.3%
(12) 日中一時支援 障害等のある人の日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図る事業	1.8%	1.7%	2.8%	4.3%	28.7%	13.5%	22.7%	26.0%
(13) 意思疎通支援 手話通訳者、要約筆記者の派遣を行うサービス	0.2%	0.2%	0.5%	0.6%	2.2%	27.5%	33.9%	35.5%
(14) 補装具費の支給・日常生活用具費の給付 義足や車いすなどの補装具、日常生活用具の費用を支給・給付するサービス	8.9%	4.6%	0.3%	0.6%	6.0%	21.7%	27.2%	30.9%
(15) 子ども発達支援センターあゆの子 外來グループ 発達障がいになる未就学の児童を対象に、親子グループ活動・併行通園のグループ活動・市内保育所等との連携など行うサービス	9.7%	2.8%	1.1%	0.3%	7.1%	19.4%	29.5%	30.6%

問6-1は、問6の(1)～(15)で1つでも「1」「2」と答えた方におたずねします。すべて「3」～「7」と答えた方は問7へお進みください。

問6-1 福祉サービスについて、満足していますか。(1つに○)

(n=525)

1. 満足	→問7へ進む	24.2%	3. やや不満	→問6-2にお答えください	26.7%
2. やや満足			36.0%		
			無回答		7.2%

問6-2 問6-1で「3」「4」と答えた方におたずねします。
福祉サービスの不満な理由はどれですか。(いくつでも)

(n=171)

1. サービス支給量が少ない	35.1%	7. サービス内容が分かりにくい	22.8%
2. 相談先が少ない	33.9%	8. サービスの情報が入手しにくい	41.5%
3. 希望する事業者や施設が見つからない	43.9%	9. その他	39.8%
4. 緊急時に利用できない	40.9%	〔具体的に：	〕
5. 費用負担が大きい	17.5%	無回答	1.2%
6. 利用方法が分かりにくい	23.4%		

お子さんの育ちや発達についておたずねします

問7 あなた(記入者)はお子さんの育ちや発達について、気になったことはありますか。
初めて気になった時期についてお答えください。(1つに〇)

(N=651)

1. 0歳～2歳	69.5%	4. 中学校〔 〕年生	0.5%
2. 3歳～就学前	20.7%	5. 高等学校〔 〕年生	0.2%
3. 小学校〔 〕年生	5.8%	6. 気になったことはない	2.5%
		無回答	0.8%

問8 あなた(記入者)はお子さんの育ちや発達について、次の人・相談機関等に相談したことはありますか。(いくつでも〇)

(N=651)

1. 家族・親族	75.4%	10. 児童相談所	18.1%
2. 友人・知人	47.2%	11. 市役所(保健センター等も含む)	40.1%
3. 保育園・幼稚園・学校	57.8%	12. 東京都の保健所	4.5%
4. お子さんと同じ状況の子がいる人	43.2%	13. 東京都立の療育機関	43.2%
5. 民生・児童委員	2.2%	14. 医療機関(東京都立の療育機関を除く)	48.7%
6. 児童館	1.8%	15. その他	11.2%
7. 子ども家庭支援センター	15.1%	〔具体的に：	〕
8. 子ども発達支援センターあゆの子	46.9%		
9. 地域生活支援センター	6.1%	16. どこにも相談していない →問9へ進む	0.9%
		無回答	0.2%

問8-1 問8で「1」～「15」のいずれかを選んだ方におたずねします。
相談をしたことで、どのような効果がありましたか。(いくつでも〇)

(n=644)

1. 話を聞いてもらって気持ち楽になった	53.1%	
2. 具体的な対応方法を考えることができた	64.4%	
3. 適切な相談機関・医療機関を紹介してもらった	56.1%	
4. 家族で子どものことについて話し合う時間が増えた	34.0%	
5. 支援を受けて子どもが成長した	53.0%	
6. 様々な情報をもらい、子育ての役に立った	47.0%	
7. 同じ悩みを持つ保護者と知り合い、共感することができた	50.2%	
8. その他〔具体的に：	〕	4.7%
9. 特に変化はない	5.3%	
無回答	1.1%	

問9 あなた(記入者)はお子さんの育ちや発達について、医療機関で診断を受けましたか。(1つに〇)

(N=651)

1. 診断を受けた	90.3%	無回答	2.5%
2. 診断を受けていない	7.2%		

問10 あなた(記入者)は、障害等のある人や育ちや発達が気になる子に関する府中市内の次の相談機関等を知っていますか。((1)～(5)について、それぞれ1つに〇)

	利用している	知っているが、利用していない	今後利用したい	知らないが、利用予定はない	知らない・利用したくない	無回答
(N=651)						
(1) 地域生活支援センター(み～、おほの、プラザ、ぷらっと) 地域で生活する障害等のある人やご家族に対し、生活全般の相談、サービス利用、当事者相談などを行っています。	15.5%	42.5%	17.4%	21.5%	3.1%	
(2) 子ども発達支援センター あゆの子 ことばが遅い、落ち着きがない、友達と遊べないなど、子どもの育児や発達のごことで気になっている方や悩んでいる方に対し発達相談を行っています。	38.6%	35.8%	3.7%	19.0%	2.9%	
(3) 身体障害者相談員・知的障害者相談員 身体障害、知的障害のある人の相談に応じ、必要な援助を行うため、市内に相談員が配置されています。	1.2%	16.3%	32.6%	45.8%	4.1%	
(4) 聴覚障害者相談事業 相談や申請などで市役所に来庁した聴覚障害のある人の手話通訳を行います。	0.0%	9.5%	2.6%	79.5%	8.4%	
(5) 障害児相談支援事業所 障害福祉サービス等の利用の開始や継続に際して、障害等のある人やご家族からの相談を行っています。	10.1%	14.6%	35.9%	34.9%	4.5%	

問11 あなた(記入者)は、お子さんの育ちや発達へのライフステージに合わせた切れ目のない支援として、次のうちどのようなことを希望されますか。(いくつでも〇)

(N=651)

1. 乳幼児期から高等学校・特別支援学校高等部卒業まで一貫して相談・支援を受け続けられること	68.7%
2. 入学・進学などのタイミングでお子さんへの支援情報が途切れないうこと	68.7%
3. 入学・進学などのタイミングに合わせて、関係する支援機関の紹介を受けられること	64.7%
4. お子さんに関する教育、保健、医療、福祉など関係機関の連携が強化されること	69.1%
5. 不安なことなどがあったときに支援機関へつないでくれる専門の職員がいること	61.1%
6. 子どものライフステージに合わせた保護者支援が行われること	62.8%
7. その他〔具体的に： 〕	8.4%
8. 分からない	2.0%
無回答	0.8%

問12 あなた(記入者)は、将来、お子さんにどのようなところで働いてほしいと考えていますか。(1つに〇)

(N=651)

1. 会社やお店などで働く(一般就労)	57.4%
2. 地域の障害者施設(作業所など)で働く(福祉的就労)	17.2%
3. その他〔具体的に： 〕	6.9%
4. 分からない	12.1%
5. 働くことは困難だと思う	5.8%
無回答	0.6%

防災についておたずねします

問13 災害時に困ること・不安なことは何ですか。(いくつでも〇)

(N=651)

1. 避難所まで避難できるか心配	40.9%
2. 市の緊急速報メールを受信できるか分からない	7.7%
3. お子さんのことを人に伝えて、うまく支援を受けられるか不安	44.1%
4. 避難を支援してくれる人がいない	19.4%
5. 災害や避難に関する情報が得られるか心配	14.3%
6. 障害等のある人に配慮した避難所があるのか分からない	55.0%
7. 大勢の人の中での避難所生活に不安がある	67.7%
8. 医療を受けられるか分からない	17.7%
9. 呼吸器等に使用する非常用電源を利用できるか分からない	5.1%
10. 障害等のある人向けの防災マニュアル、防災マップがない	26.3%
11. 避難場所が分からない	5.4%
12. その他〔具体的に： 〕	9.4%
無回答	9.4%

問14 災害時に備えて、ふだんからどのようなことを行っていますか。

(N=651) (いくつでも〇)

1. 防災グッズ(非常食用食料、飲料水等)の準備	73.7%
2. 家具の固定、ガラス拡散対策	38.6%
3. 貴重品・常備薬等をすく持ち出せるよう準備	26.1%
4. 避難場所・ルートの確認	45.2%
5. 防災訓練への参加	15.8%
6. 災害時要援護者登録の対象になる場合、その登録	2.0%
7. 緊急連絡先や支援の方法を記載した防災手帳やヘルプカードの準備	9.2%
8. 補聴器の電池など日常生活に必要な用具に係る消耗品の備蓄	9.5%
9. 呼吸器等の電源確保のための非常用電源装置等の準備	1.8%
10. 簡易筆談器などコミュニケーション支援のための道具の準備	0.8%
11. 白ごとの近所づきあいや自治会・町会等の活動など地域との関わりを深める	18.3%
12. その他〔具体的に： 〕	2.2%
無回答	4.9%

問15 地震などの災害が発生したときに、避難所で配慮してほしいことは何ですか。

(N=651) (いくつでも〇)

1. 段差がない、手すりのあるトイレなどの施設のバリアフリー	13.1%
2. 文字や音声など複数の情報伝達手段があること	10.8%
3. 手話などのコミュニケーション手段の確保	2.9%
4. 個室、番仕切り(パーテーション)などでの対応が可能であること	70.8%
5. 相談窓口や介助スタッフがいること	39.0%
6. アレルギー対応食や介護食、離乳食などの確保	14.6%
7. 医療や医薬品の確保	32.7%
8. 配給などに並ぶことができない場合の支援	42.1%
9. 他の避難者のお子さんへの理解	53.5%
10. その他〔具体的に： 〕	6.3%
11. 特になし	6.8%
12. 分からない	3.7%
無回答	1.7%

問16 災害に備えて、市民や企業等が行政と協働で取り組むとよいと思うものはどのようなことですか。(いくつでも〇)

(N=651)

1. 地域住民同士の声かけや安否確認	49.0%
2. 住民たちで行う防災組織の活動の充実	18.4%
3. 地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実	22.9%
4. 地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成	33.6%
5. 地域住民を対象とした防災講習会・学習会の開催	15.5%
6. 小・中学校の防災教育・訓練の充実	44.1%
7. 府中市災害時要援護者名簿登録届兼救急災害医療情報キットの申込みの推進	24.9%
8. 地域内外の団体等との白ごとの交流	14.7%
9. 商店や会社による場の提供や備蓄品の提供など	53.3%
10. その他〔具体的に： 〕	2.8%
無回答	7.2%

医療・医療的ケアについておたずねします

問17 お子さんは、日常的に何らかの医療・医療的ケアを必要としていますか。障害者手帳所持の有無に関わらずお答えください。(1つに○)

- (N=651)
- 1. 必要としている →問17-1、17-2にお答えください 24.9%
 - 2. 必要としていない →問18へ進む 73.1%
 - 無回答 2.0%

問17-1 問17で「1. 必要としている」とお答えの方におたずねします。現在、お子さんはどのような医療・医療的ケアを受けていますか。

- (n=162) (いくつでも○)
- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 人工呼吸器管理 6.2% | 8. 経管栄養 16.0% |
| 2. 気管内挿管、気管切開 9.3% | (経鼻・胃ろう・腸ろう、腸管栄養を含む) |
| 3. 酸素吸入 8.0% | 9. 継続する透析(腹膜灌流を含む) 0.0% |
| 4. 経鼻咽喉エアウェイ管理 0.0% | 10. 定期導尿 3.1% |
| 5. 痰などの吸引 16.7% | 11. 人工肛門 0.6% |
| 6. ネブライザー 15.4% | 12. 服薬管理 75.9% |
| 7. 中心静脈栄養 0.6% | 13. その他〔具体的に: 〕 13.6% |
| | 無回答 3.7% |

問17-2 問17で「1. 必要としている」とお答えの方におたずねします。お子さんの医療・医療的ケアにあたって、困りごとはありますか。

- (n=162) (いくつでも○)
- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 在宅での医療的ケアがたいへん 8.6% | 9. 訪問看護ステーションがない 1.2% |
| 2. 通院などの移動がたいへん 31.5% | 10. 困った時の相談先がわからない 7.4% |
| 3. 長時間の介助がたいへん 14.8% | 11. 医療的ケアに関する情報が少ない 11.7% |
| 4. 休日・夜間の介助がたいへん 16.0% | 12. 家族への支援が少ない 22.2% |
| 5. 医療的ケアの費用負担が大きい 10.5% | 13. 成人後に受診できる医療機関があるか不安 32.1% |
| 6. 通園・通学先の受け入れが難しい 12.3% | 14. その他 10.5% |
| 7. 緊急時・急変時の対応が難しい 21.6% | 〔具体的に: 〕 |
| 8. 身近に対応可能な医療機関がない 6.8% | 無回答 20.4% |

地域・共生社会についておたずねします

問18 障害等のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支えあって暮らすことをめざす「共生社会(ノーマライゼーション)」という考え方がありますが、この「共生社会(ノーマライゼーション)」は府中市民に十分理解されていると思えますか。(1つに○)

- (N=651)
- 1. はい →問19へ進む 11.2%
 - 2. いいえ →問18-1にお答えください 87.6%
 - 無回答 1.2%

問18-1 問18で「2. いいえ」と答えた方におたずねします。どのようなことがあればお子さんが「理解されている」と思えますか。(n=570) (3つまで○)

- 1. お子さんを特別な目で見ないこと 45.3%
- 2. お子さんのことを理解して受け入れができること 64.7%
- 3. お子さんがやりたいことへの手助けがあること 34.0%
- 4. お子さんへの思いやりのある声かけがあること 34.9%
- 5. お子さんが話すことを無視せず、話を聞くこと 23.7%
- 6. トイレや駅などを利用しやすくすること 20.7%
- 7. 盲導犬などの補助犬や車いすでの入店ができること 9.1%
- 8. お子さんが大きな声を出したり動き回っても、嫌な顔をされないこと 45.3%
- 9. その他〔具体的に: 〕 5.8%
- 無回答 1.6%

問19 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」では、「合理的配慮」として、国・地方公共団体や会社・お店など事業者に対して、障害等のある人からバリアを取り除く対応を求められた際に、対応することが求められています。役所、保育所・保育園・幼稚園、学校、会社、お店などで、どのような合理的配慮があればよいと思えますか。(いくつでも○)

- (N=651)
- 1. お子さんや主たる養育者の方が、困っていると思われるときは、声をかけ、手伝いの必要性を確かめてから対応する 54.2%
 - 2. お子さんの歩行速度に合わせて案内したり、位置取りについて、お子さんの希望を聞く 22.6%
 - 3. 車いすなどを利用しているお子さんが利用しやすいよう机の高さなどに配慮する 25.2%
 - 4. 移動を手伝う(段差がある場合やエレベーターがない場合の上下移動の補助など) 28.7%
 - 5. 障害や疾病等の特性に応じて、教室や会場の座席の位置を決める 37.5%
 - 6. 音や肌触り、室温など感覚面の環境調整を行う 29.2%
 - 7. お子さんの疲労や緊張などに配慮し別室や休憩スペースを設ける 51.6%
 - 8. 物の位置を分かりやすく伝える 30.0%
 - 9. 収納を手伝う(手の届きにくいところにあるものをとる、しまうなど) 18.4%
 - 10. 障害等の特性に応じたコミュニケーション手段を用いる 48.5%
 - 11. ゆっくりと短いことばや文章で、わかりやすく話しかける 51.3%
 - 12. 漢字を少なくする、ルビを振るなどの配慮をする 22.7%
 - 13. 伝える情報を紙に書くなどして整理し、ゆっくり具体的に伝えることを心掛ける 36.7%
 - 14. 障害や疾病等の特性を理解し、参加するための工夫をする 50.5%
 - 15. その他〔具体的に: 〕 6.0%
 - 16. 分からない 2.6%
 - 無回答 3.5%

問20 あなた(記入者)は、地域がお子さんの成長を支えてくれていると感じますか (N=651) (1つに○)

- 1. とても感じる 8.8%
- 2. まあ感じる 38.1%
- 3. あまり感じない 40.2%
- 4. 全く感じない 12.0%
- 無回答 0.9%

施策についておたずねします

問21 市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度は、次のうちどれですか。

(1つに〇)

(N=651)

1. 満足	} →問22へ進む	4.9%	3. やや不満	} →問21-1にお答えください	36.1%
2. やや満足		42.7%	4. 不満 無回答		8.8%

問21-1 問21で「3」「4」と答えた方におたずねします。バリアフリー環境の整備状況に不満な理由は次のうちどれですか。(いくつでも〇)

(n=292)

1. 建物の出入口や通路に段差があったり、幅が狭いこと	59.2%
2. 公共施設や病院等にスロープ、エレベーターやエスカレーターがないこと	26.0%
3. 誰もが使いやすいトイレの設置が不十分	47.9%
4. 道路に障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)が多いこと	39.7%
5. 点字ブロック・視覚障害者用信号の設置が不十分	10.3%
6. 電車・バスなどへの乗車が困難	28.1%
7. 駐車場がない	31.8%
8. 標識や案内がわかりにくい	15.8%
9. お子さんに配慮したコミュニケーションがされていない	32.5%
10. 盲導犬などの補助犬や車いすでの入室が配慮された店・レストランが少ない	15.4%
11. 介助者の確保が難しい	17.1%
12. その他〔具体的に: 〕	11.3%
無回答	0.0%

問22 府中市は障害等のある人や育ちや発達が気になるお子さんの施策について、どのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(重要なものに5つまで〇)

(N=651)

1. 各種相談事業を充実すること	38.7%
2. 障害等のある人が住宅を確保しやすくなるよう図ること	18.7%
3. 権利擁護事業や成年後見制度の取り組みの充実を図ること	16.9%
4. 障害等のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること	57.1%
5. ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実すること	14.4%
6. 利用できる通所施設を整備すること	40.7%
7. 補装具・日常生活用具給付事業を充実すること	10.3%
8. 外出時の移動支援サービスを充実すること	19.4%
9. グループホームを充実すること	22.1%
10. 視覚・聴覚などの障害に配慮した情報提供を充実すること	5.5%
11. ライフステージに合わせた、切れ目のない支援をすること	58.7%
12. 障害等のある人の自立生活をめざした取り組みが家庭・学校・地域で行われること	39.8%
13. 障害等のある人や育ちや発達が気になるお子さんに対する暴力や差別をなくすこと	32.1%
14. 障害等のある人や育ちや発達が気になるお子さんが受診しやすい医療体制を充実すること	41.2%
15. 障害等のある人や育ちや発達が気になるお子さんのための短期入所を充実すること	18.4%
16. 精神状態の不安定に対する支援の充実	15.8%
17. その他〔具体的に: 〕	6.3%
18. 分からない	1.5%
無回答	1.8%

問23 府中市の障害等のある人や育ちや発達が気になるお子さんの施策、地域で暮らし続けるために必要なこと等に関して、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

16ページ以降は、お子さんの保護者の方についての質問がございます。

続けてご回答ください。

お子さんを主に養育している人についておたずねします

問24 お子さんを主に養育している人はどなたですか。(1つに〇)

(N=651)			
1. 母親			82.6%
2. 父親			15.1%
3. その他〔具体的に： 無回答			1.2% 1.1%

問25 主に養育している人の年齢を教えてください。(1つに〇)

(N=651)					
1. 19歳以下	4.6%	4. 30~34歳	6.9%	7. 50~59歳	14.1%
2. 20~24歳	0.5%	5. 35~39歳	19.8%	8. 60歳以上	1.4%
3. 25~29歳	0.6%	6. 40~49歳	51.0%	無回答	1.1%

問26 主に養育している人の就労状況等を教えてください。(1つに〇)

(N=651)		
1. 自営業		5.7%
2. 正規雇用(正社員等)		24.1%
3. 非正規雇用(契約社員、嘱託社員、パート・アルバイト等)		32.7%
4. その他〔具体的に： 働いていない		1.4% 34.4%
無回答		1.7%

問27 世帯の収入源と、年収についておたずねします。年収は、税金などを差し引く前の額でお答えください。年金、手当、生活保護費、親族からの援助もすべて含みます。

(1) 世帯の収入源 (いくつでも〇)

(N=651)			
1. 母親の仕事の収入	45.3%	5. 生活保護費	2.8%
2. 父親の仕事の収入	87.1%	6. 親族からの援助	2.6%
3. 各種手当	26.4%	7. その他〔具体的に： 無回答	1.7% 1.8%
4. 国民年金・厚生年金・障害基礎年金	2.8%		

(2) 世帯の年収 (1つに〇)

(N=651)			
1. 200万円未満	6.1%	6. 600万円以上~700万円未満	12.7%
2. 200万円以上~300万円未満	5.7%	7. 700万円以上~800万円未満	11.5%
3. 300万円以上~400万円未満	6.6%	8. 800万円以上~900万円未満	8.1%
4. 400万円以上~500万円未満	9.7%	9. 900万円以上~1,000万円未満	6.5%
5. 500万円以上~600万円未満	14.4%	10. 1,000万円以上 無回答	11.5% 7.2%

問28 主に養育している人は、近隣に住む人と、どの程度おつきあいでいますか。(1つに〇)

(N=651)		
1. 個人的なことを相談し合える人がいる		20.7%
2. さしさわりのないことなら、話せる人がいる		30.4%
3. 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる		34.5%
4. あいさつや会話は少ないが、顔を見れば近所の人だと分かる人がいる		8.0%
5. 全く交流はなく、近隣に住む人を知らない		4.9%
無回答		1.5%

問29 主に養育している人は、ご自身の悩みや困りごとを相談できる人がいますか。(1つに〇)

1. いる 一問29-1にお答えください	87.7%	2. いない 一問30へ進む	10.8%
		無回答	1.5%

問29-1 問29で「1. いる」と答えた方におたずねします。次の人・相談機関等に相談しますか。(いくつでも〇)

(n=571)		
1. 家族・親族		85.6%
2. 友人・知人		68.0%
3. 保育園・幼稚園・学校		38.7%
4. お子さんと同じ状況の子ともがいる人		52.9%
5. 民生・児童委員		0.4%
6. 児童館		0.0%
7. 子ども家庭支援センター		6.0%
8. 子ども発達支援センターあゆの子		11.7%
9. 地域生活支援センター		2.5%
10. 障害児通所施設・サービス提供事業所		19.6%
11. 相談支援事業所		6.5%
12. 児童相談所		2.6%
13. 市役所(保健センター等も含む)		8.8%
14. 東京都の保健所		0.5%
15. 東京都立の療育機関		27.1%
16. 医療機関(東京都立の療育機関除く)		23.1%
17. その他〔具体的に： 無回答		6.7% 0.4%

問30 育ちや発達^{そだ}が気^きになるお子さん^こに関して^{かんして}、養育^{よういく}の負担感^{ふたんかん}やストレス^{すてす}を軽減^{けいげん}させるために、主に^{おもに}養育^{よういく}している人^{ひと}が重要^{じゆうじゆう}だと考える^{かんが}ことは何^{なに}ですか。次の項目^{こうぐ}の中から、優先順位^{ゆうせんじゆんい}の高いもの^{もの}を3つ、下記の に番号^{ばんごう}を記入^{きりい}してください。

(N=651)

- | | |
|--|-------|
| 1. 日中 ^{にちちゆう} 、一時的 ^{いちじき} にお子さん ^こ を預か ^{あづか} ってくれるサービス | 26.9% |
| 2. 数日間 ^{すうじつかん} 、お子さん ^こ を預か ^{あづか} ってくれるサービス | 12.4% |
| 3. お子さん ^こ の世話 ^{せわ} のために、十分に手 ^て が回ら ^{まわ} らない家事 ^{かじ} などへのサポート | 8.0% |
| 4. お子さん ^こ を自宅 ^{じやくわ} や近所 ^{きんじよ} で介助 ^{かいじゆ} してくれるサービス | 4.3% |
| 5. 育ち ^{そだ} や発達 ^{はつたつ} が気 ^き になるお子さん ^こ の兄弟 ^{けいぎ} 姉妹 ^{せいまい} に対するサポート | 10.8% |
| 6. 育ち ^{そだ} や発達 ^{はつたつ} が気 ^き になるお子さん ^こ を持つ養育者 ^{よういくしや} 同士 ^{どうし} が交流 ^{かうりゆう} し、情報 ^{じゆうほう} 交換 ^{こうかん} などを行うこと | 15.4% |
| 7. 主に ^{おもに} 養育 ^{よういく} している人 ^{ひと} 自身が趣味 ^{きんが} 、学習 ^{がくしゆ} 、就労 ^{しゆらう} など、社会的 ^{しやうかい} 活動 ^{かつどう} に参加 ^{さんか} すること | 13.8% |
| 8. お子さん ^こ が将来 ^{しやうらい} 、主に ^{おもに} 養育 ^{よういく} している人 ^{ひと} の手 ^て を離れ ^{はな} れても生活 ^{せいかつ} できるという見通し ^{けんつし} を持 ^も てること | 59.6% |
| 9. 主に ^{おもに} 養育 ^{よういく} している人 ^{ひと} 以外 ^{いげん} の家族 ^{かぞく} が、もっとお子さん ^こ の世話 ^{せわ} に参加 ^{さんか} してくれること | 5.5% |
| 10. お子さん ^こ の世話 ^{せわ} のために生 ^{せい} じる経済 ^{けいぎ} 的 ^{てき} な負担 ^{ふたん} が軽減 ^{けいげん} されること | 26.9% |
| 11. お子さん ^こ の障害 ^{しやうがい} に対する正しい知識 ^{ちゆうじき} や、向きあい方 ^{むきあひかた} を学ぶ機会 ^{がくかい} を充実 ^{じゆうじゆう} すること | 11.7% |
| 12. お子さん ^こ の育ち ^{そだ} や発達 ^{はつたつ} について何でも気軽に相談 ^{さうだん} でき、適切な ^{てきせつ} なアドバイス ^{あどばいす} をもらえる機関 ^{きかん} | 26.9% |
| 13. 療育 ^{りやういく} や教育 ^{きやういく} の体制 ^{たいせい} を充実 ^{じゆうじゆう} すること | 37.3% |
| 14. 学童 ^{がくどう} クラブなど放課後 ^{はうかご} 活動 ^{かつどう} を充実 ^{じゆうじゆう} すること | 10.1% |
| 15. 医療 ^{いりよう} 機関 ^{きかん} のサービス ^{さーびす} （通院 ^{つういん} 、対応 ^{たいおう} 等 ^{とう} ）が充実 ^{じゆうじゆう} すること | 14.3% |
| 16. その他 ^{その他} 〔具体的に ^{くわていてき} ： <input type="checkbox"/> 〕 | 3.7% |
| 無回答 ^{むこたわ} | 3.8% |

番号 ^{ばんごう} を1つ記入 ^{きりい}	番号 ^{ばんごう} を1つ記入 ^{きりい}	番号 ^{ばんごう} を1つ記入 ^{きりい}

——ご協力^{きやうりよく}ありがとうございました——